

(19)日本国特許庁(JP)

## (12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-147578

(P2022-147578A)

(43)公開日

令和4年10月6日(2022.10.6)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 0 1 N 37/42 (2006.01)	A 0 1 N 37/42	2 B 0 2 2
A 0 1 G 7/06 (2006.01)	A 0 1 G 7/06 A	2 B 0 3 0
A 0 1 G 22/22 (2018.01)	A 0 1 G 22/22 Z	4 H 0 1 1
A 0 1 N 25/02 (2006.01)	A 0 1 N 25/02	
A 0 1 P 21/00 (2006.01)	A 0 1 P 21/00	

審査請求 未請求 請求項の数 44 O L (全 23 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2021-48882(P2021-48882)

(22)出願日 令和3年3月23日(2021.3.23)

特許法第30条第2項適用申請有り 刊行物等1:日本  
作物学会第249回講演会要旨集(2020)、公開日  
:令和2年3月26日

(71)出願人 501203344

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合  
研究機構

茨城県つくば市観音台3-1-1

(74)代理人 100078282

弁理士 山本 秀策

(74)代理人 100113413

弁理士 森下 夏樹

(74)代理人 100118371

弁理士 ▲駒▼谷 剛志

(72)発明者 森野 和子

新潟県上越市稲田1-2-1 国立研究開  
発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
中央農業研究センター内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ジャスモン酸類を用いた蒸散抑制剤

(57)【要約】

【課題】

蒸散抑制組成物を提供すること。

【解決手段】ジャスモン酸類を含む、植物体またはその一部の蒸散抑制のための組成物を提供する。本開示はまた、植物体またはその一部の蒸散を抑制する方法であって、該植物体またはその一部にジャスモン酸誘導体を適用する工程を含む、方法を提供する。ジャスモン酸類は、プロヒドロジャスモン酸を含みうるがこれに限定されない。対象となる植物は、抽水植物または湿生植物などを挙げることができるがこれらに限定されない。

【選択図】なし